

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	ENDUROSHIELD PROFESSIONAL(AUS)
サプライヤーの名前	PCT GLOBAL
住所	5/21 Bearing Road, Seven Hills, NSW, 2147, オーストラリア
電話番号	+61 2 9674 9299
FAX番号	+ 61 2 9674 9747
ウェブサイト	http://www.enduroshield.com/
緊急連絡先	+61 2 9674 9299
輸入者	
会社名	株式会社ニューポート
住所	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-11 祐真ビル新館11 階
担当部門	コンシューマーアプリケーション事業部
電話番号	03-4550-2385
FAX番号	03-4550-1431
メールアドレス	fw1@newportjapan.com
緊急連絡電話番号	03-4550-1318
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	保護皮膜
整理番号	CSSS-TCO-010-128625

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体

区分2

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

区分2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

区分2A

生殖毒性

区分2

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

区分1 (中枢神経系, 全身毒性)

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

区分3 気道刺激性

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

区分1 (血液系)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

区分2 (呼吸器系, 肝臓, 脾臓)

環境に対する有害性

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気。皮膚刺激。強い眼刺激。呼吸器への刺激のおそれ。生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。臓器 (中枢神経系, 全身毒性) の障害。長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (血液系) の障害。長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (呼吸器系, 肝臓, 脾臓) の障害のおそれ。

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること/アースをとること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。火災の場合：適切な消化剤を使用して消火すること。
保管	涼しいところに置くこと。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
廃棄	内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	知見なし。
その他の情報	なし。
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	
重要な徴候	昏睡。頭痛。めまい。行為変化 運動機能を弱める。重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。呼吸器への刺激のおそれ。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
非常事態の概要	熱、火花または炎で発火する可能性がある。臓器の障害。強い眼刺激。皮膚刺激。呼吸器系に刺激を起すことがある。生殖に対する危険有害性の可能性。

3. 組成、成分情報

成分	官報公示整理番号			
	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
イソプロピルアルコール	67-63-0	(2)-207	(2)-207, 2-(8)-319	95
Organosilane derivative	非公開	非公開	非公開	1 - 3
報告量を下回るその他の成分				0 - 5
別名	ENDUROSHIELD PROFESSIONAL			
化学式	C3-H8-O (67-63-0)			

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
目に入った場合	直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	昏睡。頭痛。めまい。行為変化 運動機能を弱める。重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。呼吸器への刺激のおそれ。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
応急措置をする者の保護	直ちに汚染された衣服を脱がせる。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。（可能ならばラベルをみせる）医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。火傷：直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗いを続ける。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末。ドライケミカル。二酸化炭素 (CO ₂)。
使ってはならない消火剤	なし。
火災時の特有の危険有害性	蒸気は、空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。蒸気は発火点までかなりの距離を移動し、フラッシュオーバーすることがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法	火災や爆発の場合、フュームを吸入してはならない。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	引火性の高い液体及び蒸気。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	下水や水路、地面に排出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。この製品は水に混和性である。 大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出：土、砂またはその他の不燃性物質に吸収させて、容器に移し、後で処分する。吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策（局所排気、全体換気等）	製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。スパークしない工具や防爆器具を使う。防爆型の全体および局所排気型換気装置。
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当たないようにする。静電気の放電防止策を施す。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間の接触を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。取扱い後は手をよく洗うこと。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。
接触回避	酸。強酸化剤。塩素。イソシアナト類。詳細については、本SDSの項目10を参照。
適切な衛生対策	あらゆる医学的監視要件を遵守すること。取扱中は禁煙。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
保管	
安全な保管条件	施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。スプリングラーのある場所に置く。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分	タイプ	数値
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	管理濃度	200 ppm

日本産業衛生学会 - 許容濃度

成分	タイプ	数値
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	最大許容濃度	980 mg/m3
		400 ppm
ACGIH 成分	タイプ	数値
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	STEL	400 ppm
	TWA	200 ppm

生物学的限界値

ACGIH生物学的許容値

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)	40 mg/l	アセトン	尿	*

* - サンプルリングの詳細については原資料をご参照下さい。

設備対策

防爆型の全体および局所排気型換気装置。適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。Provide eyewash station and safety shower.

保護具

呼吸器の保護具

有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

目の保護具

有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。

皮膚及び身体の保護具

適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。不浸透性エプロンの使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態	液体。
形状	液体。
色	無色~淡黄色

臭い アルコール

pH データなし。

融点・凝固点 -88.5 °C (-127.3 °F) (CAS#67-63-0)

沸点、初留点と沸騰範囲 82.5 °C (180.5 °F) (CAS#67-63-0)

引火点 データなし。

燃焼性（固体、ガス） 該当しない。

燃焼又は爆発範囲

爆発下限界（％） 2％ (CAS#67-63-0)

爆発上限界（％） 13％ (CAS#67-63-0)

蒸気圧 44 hPa (CAS#67-63-0)

蒸気密度 2.1 (Air = 1)

比重（相対密度） 0.79（約）

溶解度

水溶性 混和する

n-オクタノール / 水分分配係数 0.05 (25 °C)(CAS#67-63-0)

自然発火温度（発火点） 455.6 °C (852.08 °F) (CAS#67-63-0)

分解温度 データなし。

粘度（粘性率） 2.04 mPa·s (25 °C)(CAS#67-63-0)

その他の情報

解離定数

15.3 (CAS#67-63-0)

10. 安定性及び反応性

反応性

本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学安定度

通常状態で安定。

危険有害反応可能性

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 混触危険物質との接触。

混触危険物質

酸。 強酸化剤。 Avoid contact with metals.

危険有害な分解生成物

Hydrocarbons 炭素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性

知見なし。

成分

種

試験結果

イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)

急性

吸入

LC50

ラット

> 10000 ppm, 6 h

経口

LD50

ラット

5.84 g/kg

経皮

LD50

ウサギ

16.4 ml/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性

呼吸器感作性物質でない。

皮膚感作性

この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異原性

本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性

ACGIH発がん性物質

イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)

A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

臓器 (中枢神経系, 全身毒性) の障害。 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (血液系) の障害。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分

種

試験結果

イソプロピルアルコール (CAS 67-63-0)

水生

急性

甲殻類

LC50

ミジンコ

> 10000 mg/l, 24 時間

魚類

LC50

魚類

10000 mg/l, 96 時間

生態毒性

この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

残留性/分解性

容易に生分解性です。

生体蓄積性

生物蓄積性でない

生体内蓄積の可能性

オクタノール / 水分配係数 log Kow

ENDUROSIELD PROFESSIONAL(AUS)

0.05, (25 °C)(CAS#67-63-0)

土壤中の移動性

この製品は水に混和性である。

オゾン層への有害性

データなし

他の有害影響

その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。

13. 廃棄上の注意

適用される全ての法規に準拠して廃棄しなければならない。

残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」 参照) 。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	1219
UN proper shipping name	Isopropanol
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary risk	-
Packing group	No.
Environmental hazards	3L
ERG Code	
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

IMDG

UN number	1219
UN proper shipping name	ISOPROPANOL (ISOPROPYL ALCOHOL)
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary risk	-
Packing group	II
Environmental hazards	
Marine pollutant	No.
EmS	F-E, S-D
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	IBC02

IATA; IMDG



国内規制

国内輸送については 15 章の規制に従うこと。

緊急時応急措置指針番号

129

15. 適用法令

労働安全衛生法

有機則

第二種有機溶剤

イソプロピルアルコール

通知対象物

プロピルアルコール

別表第9 政令番号 494 95%

表示対象物

イソプロピルアルコール

95%

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

引火性液体類

航空法・施行規則

引火性液体類

火薬類取締法

該当せず。

海洋汚染防止法

イソプロピルアルコール

Z類

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

PCT GLOBAL は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シート情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。